平成 24 年度　事務事業事後評価調書（平成　23　年度事業）

整理番号	5 － 4

1　事務事業の表示

※　■　：　該当

事務事業名	救急医療情報キット配置事業					
評価者	担当課名		保健福祉課	担当係名		保健係
	管理職	職名	課長	作成者	職名	係長
		氏名	山崎佳之		氏名	佐々木希美枝
事業の概要	急病時等の救急搬送時や救急医療機関での治療等に迅速かつ適切な対応に寄与することを目的として、日頃の健康状態や治療状況等の情報を集約し保管するための救急医療情報キットを高齢者世帯等に配置する。					

全体計画	/単年度繰返
（平成 23 年度～　　年度）	
事業費 国・道支出金	千円
地方債	千円
その他	千円
一般財源	510 千円
事業費計	510 千円

実施方法	■	直営		民間委託		その他（　　）
第５期総合計画（前期）	■	登載事業		非登載事業	優先度	B

事業の位置付け	政策目標	2	ぬくもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～
	基本施策	7	高齢者支援の充実
	単位施策	2	生活支援の充実
	事務事業の種類	■	自治事務　□ 法定受託事務
	その他計画・根拠等		

事業費 実施年度	20年度（実績）	21年度（実績）	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)
国・道支出金	千円	千円	千円	千円	千円
地方債	千円	千円	千円	千円	千円
その他財源	千円	千円	千円	千円	千円
雄武町負担額（一般財源）	千円	千円	千円	475 千円	千円
合計	千円	千円	千円	475 千円	千円

2　事務事業の目的・内容（Plan・Do）

【誰、何が（対象）】	町民	望ましい指標（目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標）		
【抱える課題やニーズは】	家庭内の事故・急病発生時に緊急対応が必要となる可能性がある	高齢者世帯等への救急医療情報キットの配置率		
		指標（指標計算式／解説）	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか（意図）】	救急搬送時に必要な情報を集約し家庭内で保管することができる	① 一人暮らし高齢者宅の救急医療情報キットの配置率	目標年度	平成23年度
			目標値	100 %
			実績値	66.2 %
			達成度	66.2 %
【その結果、どのような成果を実現したいか】※成果＝目的	急病・事故発生時等に迅速に適切な救急・医療対応が図られる	②	目標年度	
			目標値	
			実績値	
			達成度	%

内容（どのような手段で何を行ったか）	
救急医療情報キットの配置	保健係・地域包括支援センター職員が家庭訪問を実施した際に救急医療情報キット配置する他、老人クラブ健康相談実施時等にキットを配布し、自宅への配置を勧めた。

3 事務事業の評価（Check）

（1）事務事業の必要性（町民ニーズ・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事務事業を実施しない場合の支障、既存事務事業との機能重複や見直しによる対応可能性）

必要 必要／概ね必要／課題あり	□義務的なもの □全部 □一部	高齢社会の進展により一人暮らし・高齢夫婦世帯が増加しており、緊急時に備えた対応が必要である。

(2)事務事業の有効性（期待する効果が得られたか）

概ね有効 有効／概ね有効／課題あり	設定した目標値の達成状況 □達成 ■ほぼ達成 □下回る	町内の対象者世帯に対し、同じ方法で配置することで、緊急時に迅速かつ適切な対応が図られるものと考える。また、目標値はほぼ達成したが今後も対象者及び希望者への配置を進める必要がある。

(3)事務事業の効率性（コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか）

効率的 効率的／概ね効率的／課題あり	判断の理由 ■事業費抑制 □人員削減 ■時間短縮・作業軽減 □その他	キットの購入にあたっては必要最低限の内容としコスト削減を図った。また、既存事業の活用でキット配置にかかる作業の軽減に努めた。

(4)事務事業の公平性

公平 公平／概ね公平／公平でない	判断の理由 □受益者負担がある □受益者負担がない □受益が一部に偏る ■その他	緊急事態発生時の対応に必要であり受益者負担は求めていない。キットの配置対象者を定め優先的に配置を進めているが希望者へは公平に配置した。

4 総合評価【A～D】

A：計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当　等
B：ほぼ計画通りに進んでいるが目標に達成していない。事業の進め方に改善が必要　等
C：当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要　等
D：事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要　等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
B	B	
緊急時の対応を想定し、目標達成を目指してさらに配置を進める必要がある。	同左	

今後の展開方向
（Action）

継続／現状維持	**継続／現状維持**	
対象者への配置と必要時医療情報等の更新が必要なため、事業を継続する。	同左	

＊展開方向の区分
○ 継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更　○ 終了　○ 休止　○ 廃止

5 その他特記事項（アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入）